

令和3年11月1日

各 位

山形市野草園 : 山形市大字神尾 832-3  
電話 023-634-4120

## 山形市野草園からのお知らせ



1

2

3

4

(昨年11月撮影)

### 深まる秋 色づく野草園

- ① 「野草の丘」のヤマモミジ ② 「大平沼」ほとりから望む瀧山の冠雪  
③ 「カエデ林」の落葉 ④ 「七草の庭」の木々の黄葉

季節は足早に進んでいきます。立冬を間近にひかえた晩秋の野草園では、冬の足音が聞こえてきそうです。この時季、植物にとっては紅葉と冬支度の季節です。あちらこちらで赤や黄色に色付いた葉、冬越しの準備が整った冬芽を見ることができます。

・・・「ミズバショウの谷」の木道を歩くと、淡い紫色に染まったムラサキシキブの実が目にとまります。葉の落ちた木を見上げながら進んでいくと、「大平沼」東側の東屋付近で不思議な形のクサギの実に見入ってしまいます。何という形と色でしょう。驚きです。

「七草の庭」付近に足を進めていくと、オオバクロモジやシロモジの黄葉が小春日の太陽に輝いています。「ログハウス」に近づくと、どこからか漂ってくる甘い香りに気が付きます。そうです、落葉したカツラの葉の香りです。思わず深く息を吸ってみたいくなります。・・・

残り少なくなってきた秋の一日、心地よい太陽の光を浴びながら野草園を散歩してみませんか。温かい飲み物をリュックに入れてゆっくりと歩き、時々ベンチに座っておいしいお茶をいただいてみる。そんな一日があってもいいのかもしれない。さあ、野草園に出かけてみましょう。

## 11月の予定

### 《イベント・教室等》

#### ◆【第28回 野草園の魅力を探る写真コンテスト入賞作品展】

○日時 10/17(日)~11/23(火) 9:00~16:30

○場所 自然学習センター

○費用 入園料300円のみ(高校生以下無料)

#### ◆バードウォッチング ※定員になり申込は終了しています

○日時 11月6日(土) 午前9時~午前11時

○講師 日本野鳥の会山形県支部 嵐田 稔 氏、細谷 千鶴子 氏

○内容 野鳥の観察

○対象 県内在住者先着20人

○費用 400円(資料代・入園料込み。高校生以下100円)

○持込 双眼鏡(貸出しあり)

### 《ガイドウォーキング》無料の園内案内

#### ◆見どころの場所へご案内する1時間のウォーキングタイム

毎週日曜日・祝日の午前午後1回ずつ

(1回目:10:30~11:30) (2回目:13:30~14:30)

### 《カフェの営業》(10月で今年の営業は終了いたしました)

#### ◆カフェ「やまぼうし」 11月の営業はありません

## ●●●11月前半に見られる花と樹木の果実と紅葉 ●●●



#### ジュウガツザクラ(バラ科)

コヒガンザクラの園芸品種で、春(4月)と秋(10~11月)の2回開花します。花は淡紅白色で八重咲きです。名前は「十月桜」で10月頃に開花するからです。春に比べ秋に咲く花はやや小さいようです。尚、コヒガンザクラはエドヒガンとマメザクラの交雑種です。



#### マルバノキ(マンサク科)

中部地方や四国の山地に見られる落葉低木です。葉が暗赤色に紅葉した頃に花が咲きます。その葉が卵形~円形なので、マルバノキという名前がつけました。枝から出た2つの暗紅色の小さな5弁花は背中合わせに付き、星のような形です。野草園では一番遅く開花する木本の花です。



#### 台湾ンホトトギス(ユリ科)

沖縄県西表島、台湾などの亜熱帯地域の山地や森林の湿った場所に自生し、高さ30~50cmになります。斑点が入る花を、鳥のホトトギスの胸の模様に見立てたことが名前の由来です。園芸用に品種改良されたものが多く栽培されています。



### ヤナギバヒマワリ(キク科)

別名はゴールデンピラミッド、北アメリカのネブラスカからテキサス州にいたる地域に分布しています。茎は直立して無毛、多数の細い葉を互生します。花は、たくさんの黄色の舌状花と茶色の筒状花からなっています。名は、花がヒマワリに似て葉が柳の葉のように見えることに由来します。



### キチジョウソウ (キジカクシ科)

関東から九州にかけての暖地の林内に生える常緑の多年草です。根生する葉は長さ10~30cm、花茎は10cm程です。吉祥草という縁起のいい名前は、吉事があると開花するという中国の言い伝えからきているようです。野草園では、一番遅く開花する草本の花です。



### キタマムシグサの果実(サトイモ科)

真っ赤な、まるでトウモロコシの様な形の果実です。少々気味が悪いほどの外見と赤色で、毒々しい印象です。初夏には、緑色の蛇が鎌首を持ち上げたような形の花を咲かせていました。マムシグサは全草に毒性があり、特に球根の毒性が強く、汁が皮膚に付くと炎症を起こします。誤って食べると、死に至ることもあります。



### クサギの果実(シソ科)

日当たりの良い山野の林縁に生える落葉の小高木で、芳香のある白花を多数つけます。花の後、萼はきれいな濃紅色になり、深裂して星状に開き、中央に藍色の果実をつけます。まるで花のような果実です。花も果実も綺麗なのですが、名前は「臭木」です。葉に臭気があるために、このような名前がつきました。



### カンボクの果実(ガマズミ科)

主に北日本の山地に生える落葉低木です。葉は3つに裂け、初夏に、白いガクアジサイのような両生花と装飾花を咲かせます。秋には、真っ赤な果実を多数付けます。とてもおいしそうに見えますが、つぶしてみると強い臭気があります。そのためか鳥も食べず、葉が落ちた後も、春まで実が残っています。



### ナツハゼの果実(ツツジ科)

高さ 1~3m の落葉低木で、葉は互生、枝先に長さ 4~5mm の鐘形の花を付けます。花弁は浅く 5 裂し、裂片は少し反り返ります。黒く熟した果実は直径 4~6mm の球形の液果で表面は光沢があり甘酸っぱく、食べられます。北海道~九州の山地に分布します。



### ムラサキシキブの果実(シソ科)

山野の林内や林縁に生える落葉低木です。葉は対生で、形は長楕円形、先が尾状にとがり基部は狭いくさび形です。夏に淡紅色の小さい花をたくさんつけます。花も美しいですが、果実もまた、紫色でとても美しく見えます。果実は、葉が落ちた後も枝に長く残っています。



### ツルウメモドキの果実(ニシキギ科)

日本を含め、東アジア一帯に自生する落葉つる性の木です。伸びた枝の先に黄緑色の花を集めて付けていましたが、今は淡黄色に熟した果実が付いています。それが3つに裂開し、その中から赤い仮種皮に包まれた種子が見えています。その姿がきれいなので、生け花の材料によく使われます。



### イイギリの果実(ヤナギ科)

本州以南に分布する落葉高木です。名の由来は、その昔大きな葉で飯を包んだため「飯桐」と言われるようになったそうです。ブドウの房のように垂れ下がった果実は、ナンテンに似ているので、「ナンテンギリ」とも言われます。おいしそうに見える実ですが、まずくて食べられないようです。



### ツルリンドウ (リンドウ科) の果実

山地の木陰などに生えるつる性の多年草です。草木にからんで長さ 40~80cm になった細長い茎の葉腋に、ラッパ型の花を付けます。花冠が淡紫色で先は 5 裂し、花冠の長さは 2.5~3 cm。対生する卵状披針形の葉は有柄で、葉脈が縦に走るように見えるのが特徴です。果実は液果で、残存する花冠の上に突き出し濃い紅紫色に熟します。



### カツラの黄葉（カツラ科）

カツラの木が黄葉し、周りには甘い匂いがします。下には黄色や茶色のハート形の落ち葉がたくさんあります。その黄色の葉が茶色になり始めると、砂糖をこがしたような香ばしい匂いを出すのです。



### エノキの黄葉（ニレ科）

山野の湿った場所に多く生育する落葉高木で、葉は基部から長く伸びる葉脈が目立ち、先半分に鋸歯があります。昔は一里塚の目印として街道沿いに植えられていて、今でもその大木が見られる場所があるそうです。



### オオバクロモジの黄葉

（クスノキ科）

本州～九州に分布する雌雄異株の落葉低木です。葉や枝には芳香があるのが特徴です。この時季、葉が鮮やかな黄色に染まります。



### イタヤカエデの黄葉

（ムクロジ科）

山地に生える落葉高木で、葉は対生し掌状で5～7に中裂～浅裂し、裂片の先端はとがります。秋に黄色く色づくカエデの代表です。



### カジカエデの黄葉

（ムクロジ科）

山地に生える落葉高木で、葉は掌状に5深裂し、上部の3裂片が大きく、縁には粗い鋸歯があります。葉は黄葉しますが、日当たりの良い場所では橙～赤色を帯びることもあります。





### メグスリノキの紅葉

(ムクロジ科)

3出複葉の葉をもち、鮮やかなサーモンピンク～赤色に紅葉します。また、紅葉し始めの頃は、緑色とサーモンピンクが重なり何とも言えないくすんだ色に染まります。



### ヤマモミジの紅葉

(ムクロジ科)

北海道や日本海側に多い落葉小高木で、葉は対生で掌状に深く5～9裂し、縁は重鋸歯になっています。紅葉は木全体の葉が赤くなるもの、黄色くなるものがあり、変異が多いようです。



### ハウチワカエデの紅葉

(ムクロジ科)

寒い地方に生える代表的なカエデです。葉は対生し、基部はハート形です。大きい葉を羽うちわに例えたことが名前の由来です。真っ赤に紅葉するもの、明るい橙～黄色に紅葉するものもあります。



### ニシキギの紅葉

(ニシキギ科)

丘陵から山地の落葉広葉樹林の林内や林縁に生える落葉低木です。6月頃淡緑色の小さな花をつけ、現在は真っ赤な果実も見どころです。錦木の名のとおり紅葉が見事な樹木です。

